

# せんたくく（洗濯・選択）八策

来るべき総選挙は、各政党が断固たる決意のマニフェスト（政権公約）を示し、政策中心の「歴史的な政権選択選挙」としなければならない。このため、われわれは、自己改革を行いながら、「脱官僚」「脱無党派」「脱中央集権」を旗印に、この国の政治をいま一度、「洗濯・選択」するため、坂本竜馬の「船中八策」にならない、「平成の民権運動」を推進すべく、以下八策を決議するものである。

- 一策 明治以来の官僚主導・中央集権型の統治構造を根本から改め、天下の政権を国民の手に取り戻すこと。
- 二策 国から地方へ、権限、人材、税財源を明け渡し、多様で自立した「地方政府」を創造すること。「中央政府」は、地球環境をはじめ国際的な課題への取り組みなど、専ら、本来の責務を果たすこと。
- 三策 無駄使いを徹底的に排するなど、国民の目線で行政や予算のあり方を根本から作り直すこと。中央集権型の陳情政治、バラマキ型の補助金政治と決別すること。
- 四策 国民が暮らしの将来像を実感できる日本社会の中長期ビジョン、実現の優先順位、実行体制を明記した政権公約を策定し、国民が「選択」できる本格的なマニフェスト選挙を実現すること。
- 五策 総理大臣を中心とする、本来の「議院内閣制」に政治や行政の仕組みを改革すること。各省統制りを打破し、政治主導確立に向けて公務員制度改革を推進すること。
- 六策 これまでの衆参両院の審議運営のあり方を国民の目線で根本から見直し、五五年体制時代の旧弊を乗り越え、「政権選択時代の新しい国会像」を確立すること。
- 七策 首長は徹底して自治体改革を断行し、なれあい型の多選は自らの意思で排除すること。また、地方議員は利益誘導的な口利き・斡旋を排し、地方議会の役割、使命を根本改革すること。
- 八策 すべての政治家は、政治倫理を確立し、政治とカネの関係を含め、自らの行動を厳しく律し、常に説明責任を果たすなど、国民の不信や疑惑を招くことのないよう努めること。

平成二十一年四月二〇日

せんたく議員連合

地域・生活者起点で日本を洗濯・選択する国民連合（せんたくく）